

第 15 回 介護医療連携推進会議

宝塚清光苑 定期巡回サービス
管理者

日時：平成 30 年 4 月 17 日（火） 10：30～11：30

場所：宝塚清光苑 地域交流室

出席者：宝塚市介護保険課 担当者様

認知症対応型通所介護事業所・管理者様

連携先訪問看護ステーション所長様

民生委員様

(宝塚清光苑出席者)

施設長

グループホーム管理者

小規模多機能管理者

定期巡回サービス管理者

欠席者：第三者評価調査者様

地域包括支援センター所長様

自治会長様

1. 事業内容の報告

・ご利用人数 3 月 21 名、4 月 21 名

・平均要介護度 3 月 3.8 4 月 3.6

・終了者について

3 月入院 2 名、特養入居 1 名

・新規利用の方

4 月 3 名

2. 事故・苦情等

①ご利用者様宅のユニットバス扉の破損

3 月 26 日、訪問スタッフがご利用者様宅のお風呂の扉を破損させてしまいました。

謝罪をいたしまして、翌日が入浴日のため早急に業者を手配して修理をしてもらいました。

②交通事故

4 月 10 日、原付バイク（スタッフ）と自転車による接触事故がありました。

幸い相手方にもスタッフにも怪我はありませんでした。当日は訪問回数も少なく、急ぐ必要もありませんでした。落ち着いて訪問するよう指導しました。

3. 介護医療連携推進会議の開催について

平成 30 年 4 月の法改正により、他の宿泊を伴わないサービス（地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護）にあわせて開催頻度が年 4 回から年 2 回となりました。

4. 質疑応答

認知症対応型通所介護事業所・管理者様

定期巡回サービスのご利用者様は特養入居待ちの方が多いのか？

→特養入居待ちの方は少なく、ご自宅での看取り希望の方が多。

宝塚市介護保険課 担当者様

ご利用者様 21 名となって採算はとれるか？

→スタッフ採用の手段が人材紹介会社がメインとなっており、紹介料が原因で採算がとれなくなってしまう。法人内異動などの手段がとれば安定した黒字が可能である。

しかし、定期巡回サービスは①短時間の身体介護技術②ご家族様とのコミュニケーション等の高いスキルが求められるため他部署からの異動も難しく、今後も職員採用が課題である。

次回開催日 10 月 10 時 30 分～